

ちゅ しま

美ら島からの染と織—色と文様のマジック

Churashima Textiles—the Magic of Color and Pattern



沖縄を代表する染色技法「紅型」(びんがた)。型紙によって赤、青、黄、緑と様々な色どりの模様を染めつけます。大柄の紅型は、王族など特権階級の人々が着用しました。

この着物は苧麻(ちよま・別名カラムシ)という植物からとられた糸で織られています。糸がとても細く軽いので風をうけて布がなびくと、枝垂桜の枝がゆれ、鳥が遊ぶように見えるといいます。

①《白地震枝垂桜燕文様紅型苧麻衣裳》
18-19世紀 国宝
那覇市歴史博物館 A期

2019年8月10日(土)～9月23日(月・祝)

※会期中、展示替えがあります

◆ 展覧会概要

【展示期間】

A期:8月10日(土)～25日(日)

B期:8月27日(火)～9月8日(日)

C期:9月10日(火)～9月23日(月・祝)

沖縄は明治時代以前には琉球王国として栄え、そこでは独自の染織文化が花開きました。本展では、紅型をはじめとする、最高の質を誇る国宝の琉球国王尚家伝来の染織品を中心に、芭蕉布、上布などの優品を展示し、同地で発達した高度な染織文化をご紹介します。また紅型の道具や文様見本帖などによってその技法の一端をご紹介しますとともに、今日までこうした技術が伝承されてきていることをふまえ、人間国宝の作家らによる現代の最高峰の諸作品により、沖縄の染織の現状も併せて展覧します。

本展覧会は、沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団および那覇市歴史博物館の全面的なご協力とそのコレクション70件により構成いたします。出品はすべて制作地に直接由来する沖縄からのものであり、この点が大きな特色となります。

◇ 展覧会構成

第1章 紅型 — 沖縄の至高の染織品

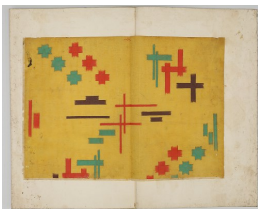


② 《黄色地鳳凰蝙蝠宝尽青海立波文様紅型綾袷衣裳》

18-19世紀 国宝 那覇市歴史博物館蔵 B期

ここでは国宝に指定されている琉球王国尚家伝来の染織品をご紹介します。例えばこの少年用の衣裳、黄色地に中国由来の鳳凰文様の組み合わせは、王族のみが使用しました。高価な輸入品の鉱物顔料を使った原色の色彩は、100年以上の時をへても鮮やかに国際的な琉球王国の華やいだ雰囲気を与えます。

第2章 沖縄の織物



③ 《紬黄色地ムルドウッチリ袷衣裳》

19世紀 (一財) 沖縄美ら島財団蔵 A期

④ 《御絵図帳》18-19世紀 国宝

那覇市歴史博物館蔵 ※場面替えあり

複雑で独創的な模様、高度な織りの技術が競うように発展していた琉球の織物。琉球王国時代、王都の首里(那覇)から久米島・宮古・八重山などの島々に王家の着用する緋を発注する際には、「御絵図(みえず)」と呼ばれるデザイン図によって細かく指示がなされていました。このほか、上質な芭蕉布や上布は諸外国に対する重要な交易品としても使われました。

第3章 多彩な染織品たち—着物以外の染織品



⑤ 《縞緯緋芭蕉木綿ティサージ》19世紀

那覇市歴史博物館蔵



⑥ 《苧麻紺地巴紋入松竹梅文様布(チリデーウスーヤー)》 沖縄県立博物館・美術館蔵 18-19世紀

芭蕉や苧麻といった特徴的な植物繊維で織られる沖縄の織物はいかにも涼しげです。近世には木綿も導入されました。「ティサージ」は手拭としてだけではなく航海のお守りや贈物としてもつかわれました。また覆い布としてどの方向から見てもいように染められた「チリデーウスーヤー」など様々な用途の布がありました。

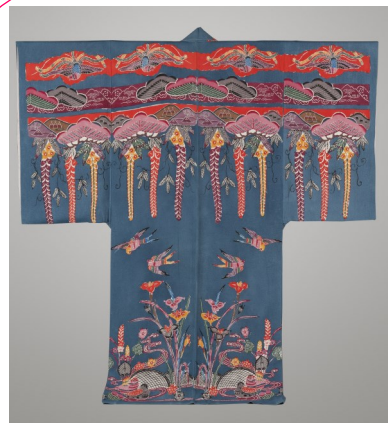
第4章 沖縄染織の道具



⑦ 《紅型型紙(19世紀)とルクジュー(1978年)》 沖縄県立博物館・美術館

細かな模様が刻まれた紅型の型紙。型紙を彫る下敷き「ルクジュー」は何と豆腐を乾燥させてつくられたもの。戦後の物資の乏しい時期は薬莖をさした糊袋がつけられるなど、道具には職人の創意工夫の跡がみえます。

第5章 伝統を伝えて—現代の作品



⑧ 城間榮喜作《縮緬灰色地雲鳳凰に松藤水辺鳥文様衣裳》

1955年頃 沖縄県立博物館・美術館蔵 A期

最終章では沖縄の人間国宝や名工らの作品を紹介します。城間榮喜(しろまえいき)は戦後の荒廃のなかから紅型を復興させたひとりでした。彼の衣裳をまとい琉球舞踊を舞う名手・宮平敏子(故人)の姿が切手の原画となりました。沖縄の染織の伝統は彼らのためめ努力によって今日に伝えられているのです。

◇ 会期中イベント

● 記念講演会「沖縄の染織」

日時:9月8日(日) 午後2時～ (約1時間30分)

講師:與那嶺一子氏(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員)

* 無料(要入館料) * 定員80名 * 午後1時30分から地下2階にて整理券を配布します

● 特別ギャラリートーク

日時:2019年8月10日(土)午後2時～ (約40分)

講師:上江洲安亨氏(一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部首里城事業課 副参事)

* 無料(要入館料) * 事前予約の必要はありません

● 「沖縄の伝統音楽と舞踊」

日時:2019年9月7日(土)午後2時～ (約1時間30分) 出演者:島口隆弘氏(沖縄三線演奏家)ほか

* 無料(要入館料) * 定員80名(応募者多数の場合は抽選)

* 要事前申込み:「沖縄音楽」係まで。8月24日(土)必着

● 親子見学会&ワークショップ

「マスキングテープで琉球の織物デザインはがきをつくろう！」

学芸員の解説を聞きながら展覧会を親子で見学後、絵はがきを制作します。

日時:8月15日(金)または16日(土)各日午後2時～4時

* 無料 * 定員 各日保護者と子ども20組 (応募者多数の場合は抽選)

* 対象年齢は小・中学生 * 要事前申込み:「親子見学会」係まで。8月10日(土)必着

● 子ども美術教室「^{びんがた}紅型体験—沖縄の色と文様を知ろう！」

紅型に関するお話を聞いた後、沖縄の文様で型染めをしてハンカチを制作します。

日時:8月20日(火)または21日(水)各日午後2時～4時

講師:大小田万侑子氏・玉井あや氏(東京藝術大学大学院美術研究科)

* 無料 * 定員各日20名 (応募者多数の場合は抽選)

* 対象年齢は小・中学生。(保護者同伴可) * 要事前申込み:「子ども美術教室」係まで。8月12日(月)必着

● 担当学芸員によるギャラリートーク

8月17日(土)、9月1日(日)、13日(金) 各日午後2時～約30分間 * 要入館料 * 事前予約の必要はありません。

* 事前申し込みは往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)にて

※迷惑メール等の受信制限をされている方は、事前に@shoto-museum.jpドメインより受信できるようにしてください。

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号・人数をご記入の上、各イベント係まで。

1通につき2名まで申込可能。

* 「親子見学会」「子ども美術教室」は希望日をご記入ください。



◎ 館内建築ツアー

白井晟一設計の美術館建築を館員がご案内します

8月16日(金)・23日(金)・30日(金)

9月6日(金)・13日(金)・20日(金)

各日午後6時～ 約30分

◎ 学芸員によるギャラリートーク

8月17日(土)、9月1日(日)、13日(金)

各日午後2時～ 約30分

* 無料(要入館料)

* 事前予約の必要はありません

◇開催概要

展覧会名	ちゅ しま 美ら島からの染と織 一色と文様のマジック
会期	2019年8月10日(土)～9月23日(月・祝) ※会期中、展示替えがあります
開館時間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) ※金曜は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)
入館料	一般500(400)円、大学生400(320)円、高校生・60歳以上250(200)円 小中学生100(80)円 *()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝休日及び夏休み期間は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料
休館日	月曜日(ただし、8月12日、9月16、23日は開館)、8月13日(火)、9月17日(火)
主催	渋谷区立松濤美術館
会場	渋谷区立松濤美術館 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 電話: 03-3465-9421 HP: https://shoto-museum.jp/

★リピーター割引

有料の入館券の半券を、観覧日翌日以降の会期中に提示すれば、通常料金から2割引きでご入館できます。同一半券の提示は1回限り有効です。

交通案内

- 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分
 - JR・東京メロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分
- ※駐車場はございません。

◇次回展のご案内

「日本・東洋美のたからばこ
～和泉市久保惣記念美術館の名品～」
2019年6月8日(土)～7月28日(日)



報道関係のお問い合わせ

広報担当 西・平塚(info@shoto-museum.jp)

展覧会担当: 平塚(hiratsuka@shoto-museum.jp)
平泉(hiraizumi@shoto-museum.jp)

電話: 03-3465-9421 FAX: 03-3460-6366

- * 画像をご希望の場合は、作品名の前にある番号をお知らせください。
その他チラシ等に掲載の画像をご希望の場合もご相談ください。
- * 画像の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 画像のご利用後、データは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、一度校正をお送りください。
- * 掲載後、見本誌をご送付いたしますようお願いいたします。